

平成30年度京都府肝炎コーディネーター養成のためのモデル研修会
(報告)

1 目的

平成31年度の制度開始に向け、研修内容、試験問題について検証を行う。

2 方法

京都府と京都府肝疾患診療連携拠点病院（京都府立医科大学附属病院、京都大学医学部附属病院）との三者主催で研修会を開催した。

3 結果

(1) 日時 平成31年3月9日（土）16時から18時30分まで

(2) 場所 京都府立医科大学附属病院 臨床講義棟 南臨床講義室

(3) 参加者 府内薬局に勤務する薬剤師 18名

(4) 内容

- ① B型・C型肝炎について（病態と治療薬）
- ② 京都府の肝炎対策（無料肝炎検査、助成制度や相談窓口の紹介）
- ③ 肝炎患者による講義（体験談）
- ④ 習熟度テスト

(5) 結果

- ・ 習熟度テストの結果を踏まえ、参加者18名全員を肝炎コーディネーターとして仮認定を行った。
- ・ 仮認定後、本認定を希望する者は京都府に研修受講後の活動内容について報告書を提出させることとしている（現在までに7名から提出があった）。
- ・ アンケートの結果は別紙のとおり。
- ・ 肝炎患者による講義は初めて受ける者も多く、好評であった。

(6) 今後の展開

- ・ モデル研修会の講義内容及び習熟度テストをベースに、令和元年度から肝炎コーディネーター養成研修を展開していく。

お早めにお申し込みください。〆切：3月3日（月）正午

京都府からのお知らせ

肝炎コーディネーター養成のためのモデル研修会を開催します

主催：京都府・京都府肝疾患診療連携拠点病院（京都府立医科大学附属病院・京都大学医学部附属病院）

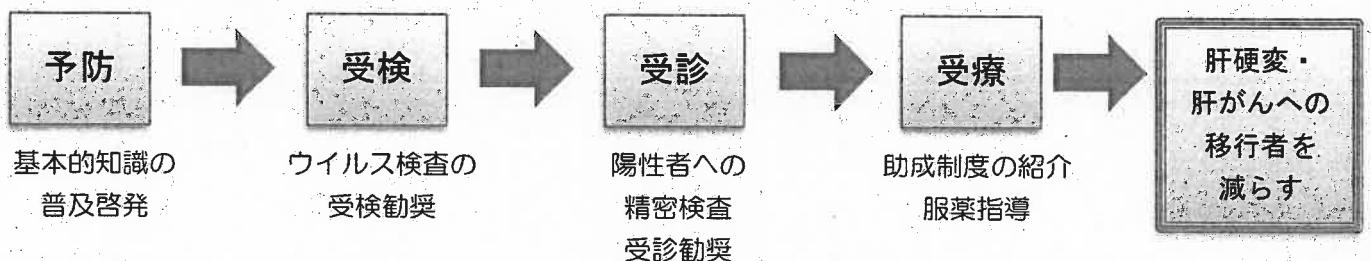
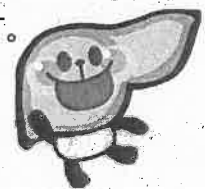
京都府では、平成31年度から肝炎対策を各地域で進めるための「肝炎コーディネーター」の養成を開始します。それに先立ち、研修内容を検討するためのモデル研修会を開催することにしました。「ウイルス性肝炎」について学んでみたい方、この機会に是非参加へのご協力をお願いします。

<肝炎コーディネーターとは>

医師、看護師、薬剤師等の様々な職種から構成され、一人で全ての役割を担うのではなく、各ステップでそれぞれの強みを生かして肝炎患者をサポートする方のことです。

<薬剤師に期待されること（例）>

- ◇ 経済的な理由で治療をためらう患者に医療費助成制度の紹介を行う
- ◇ 肝機能検査の数値が悪い患者に、ウイルス検査を勧める

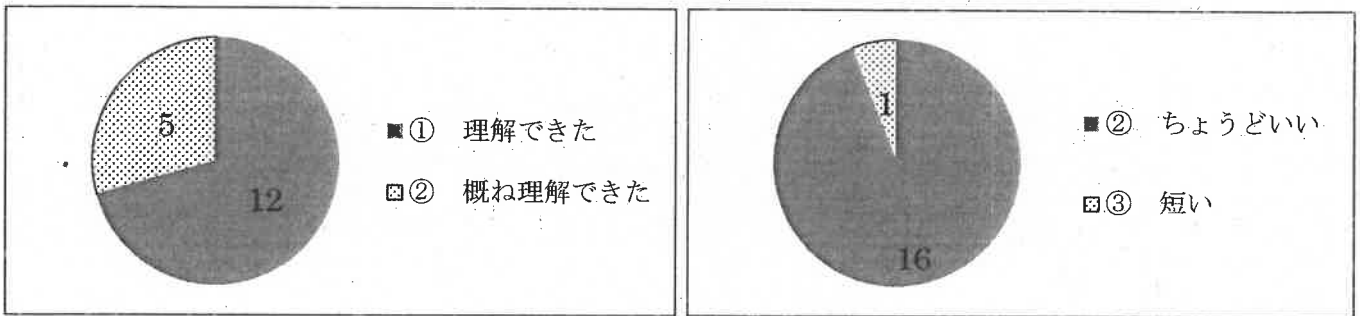


- 1 日時 平成31年3月9日（土）16時から18時30分まで
- 2 会場 京都府立医科大学附属病院 臨床講義棟 南臨床講義室
- 3 対象者 薬局の勤務経験が概ね3年以上の薬剤師で、研修会前後のアンケートにご協力いただける方 定員30名 ※申込多数の場合は抽選とさせていただきます。
- 4 研修内容
 - ① B型・C型肝炎について（病態と治療薬）
 - ② 京都府の肝炎対策（無料肝炎検査、助成制度や相談窓口の紹介）
 - ③ 肝炎患者による講義（体験談）
 - ④ 習熟度テスト
- 5 申し込み方法・期限
裏面の申込用紙を下記宛先までFAX送信してください。
<宛先> 京都府健康対策課 がん対策担当 FAX：075-431-3970
<期限> 平成31年3月3日（月）正午まで
- 6 その他（詳細は研修時にご案内します）
 - 習熟度テストで一定の点数以上を取られた方を肝炎コーディネーターとして仮認定を行います。その後、受講後の活動状況について簡単な報告書を提出いただいた方について本認定を行います。
 - 本認定を受けた肝炎コーディネーターで、所属長の同意が得られた方については、所属薬局名のみ京都府ホームページで公開します（個人の氏名は公開しません。）

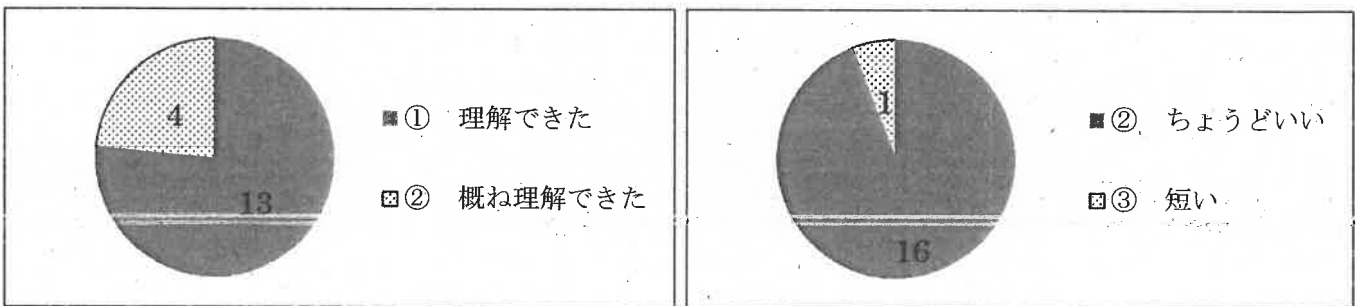
モデル研修会 事後アンケート結果（回収数＝17）

1. 今回の研修内容について

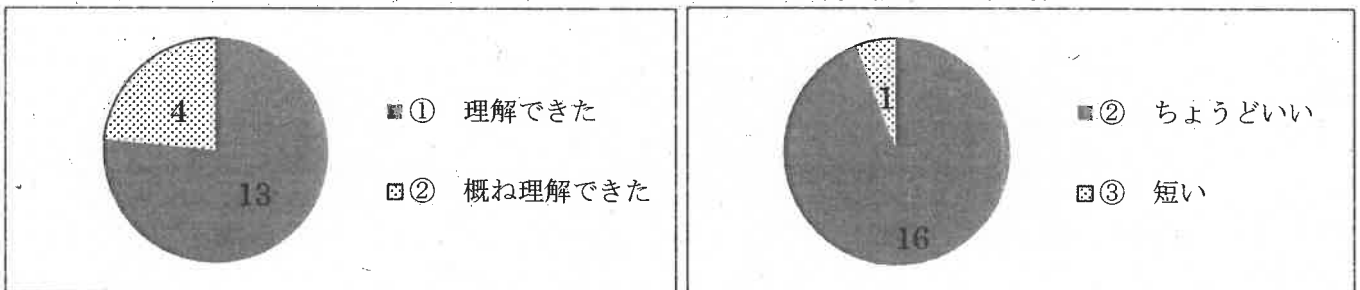
(1) 「肝炎コーディネーター制度について」（京都府健康対策課 長岡副課長）



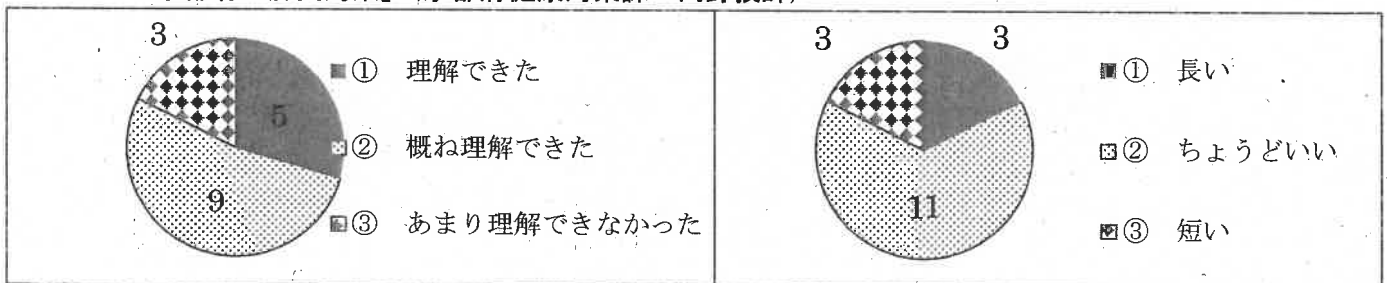
(2) 「B型肝炎の病態と治療について」（京大病院 上田医師）



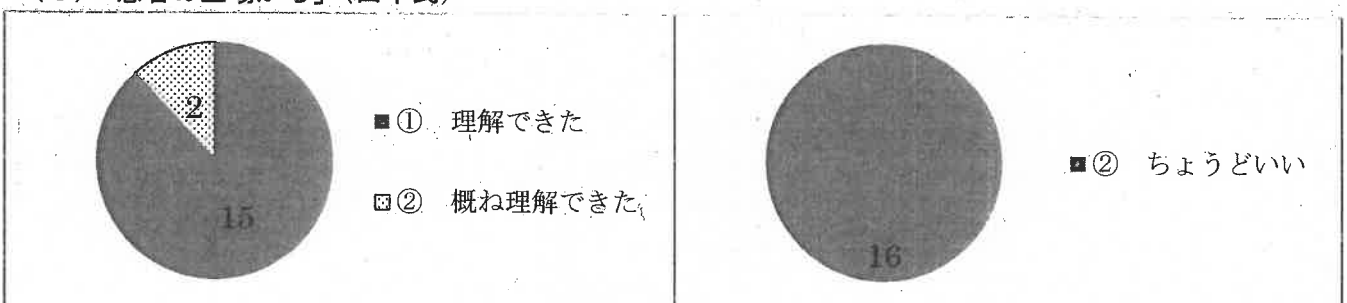
(3) 「C型肝炎の病態と治療について」（京都府立医科大学附属病院 山口医師）



(4) 「京都府の肝炎対策」（京都府健康対策課 内野技師）



(5) 「患者の立場から」（田中氏）



平成 30 年度肝炎コーディネーター養成のためのモデル研修会
習熟度テスト（受講者 18 名）

番号	問題	正答者数	資料を	
			見なくても解けた	見ることによって解けた
B型肝炎の病態と治療について				
1	B型肝炎の未感染者と既往感染者の病態は同じである。	16	18	0
2	免疫抑制状態ではB型肝炎ウイルス再活性化対策が必要である。	18	18	0
3	B型肝炎ウイルスは会話や握手で感染する。	18	18	0
4	B型肝炎ウイルスの感染予防にB型肝炎ワクチンが有効である。	18	18	0
5	B型肝炎ウイルスは治療で排除できる。	18	18	0
C型肝炎の病態と治療について				
6	C型肝炎は30%が自然治癒する。	18	12	6
7	C型肝炎は届け出が必要。	18	17	1
8	肝がんの成因ではC型肝炎が多い。	18	13	5
9	C型肝炎患者は高齢化している。	18	16	2
10	インターフェロンフリーの治療は高齢者や進行した肝硬変患者さんへの治療の可能性を広げた。	18	18	0
京都府の肝炎対策について				
11	高校生の娘が友達から借りたピアスの穴開け器具を消毒せずに使ったが、若いので肝炎ウイルスの感染リスクは低い。	18	18	0
12	手術前の肝炎ウイルス検査で陰性だった場合は患者に結果を伝える必要はない。	17	18	0
13	京都府が保健所で行う肝炎ウイルス検査は無料で受けることができる。	18	17	1
14	肝炎ウイルス検査で陽性と言われたが、特に自覚症状がなければ精密検査を受ける必要はない。	18	18	0

番号	問題	正答者数
15	インターフェロンフリー治療でウイルスを排除したあとも、定期的に検査を受ける必要があり、検査費用に対する助成制度がある。	18
16	B型肝炎ウイルスに対する核酸アナログ製剤治療に対して、医療費の助成制度がある。	18
17	C型肝炎ウイルスに対するインターフェロンフリー治療に対して、医療費の助成制度がある。	18
18	平成30年12月から、肝がんの入院医療に対する助成制度が開始された。	18

資料を	
見なくても解けた	見ることによって解けた
14	4
16	2
16	2
8	10

令和元年度京都府肝炎コーディネーター養成研修 実施計画 (案)

1 目的

行政職員及び肝疾患専門医療機関で勤務する医療関係者を対象に養成研修を行う。

2 方法

京都府と京都府肝疾患診療連携拠点病院（京都府立医科大学附属病院、京都大学医学部附属病院）との三者主催で研修会を開催する。

3 概要

(1) 行政職員に対する養成研修

ア 日時・場所

南部会場 令和元年6月24日(月) 午後1時から午後3時50分まで
京都ガーデンパレス 鞍馬の間

北部会場 令和元年6月28日(金) 午後1時から午後3時50分まで
市民交流プラザふくちやま 会議室4-1

イ 対象者 保健所・市町村の肝炎担当者
京都府肝疾患相談センターの相談員

(2) 肝疾患専門医療機関の職員に対する養成研修

ア 対象者(案) 看護師、患者相談室の職員等の医療関係者

4 内容

- ① B型・C型肝炎について(病態と治療薬)
- ② 肝炎患者による講義(体験談)
- ③ 京都府の肝炎対策(無料肝炎検査、助成制度や相談窓口の紹介)
- ④ 習熟度テスト

肝炎コーディネーター養成研修 習熟度テスト (案)

- 各問題について、正しければ○、間違っていれば×の2択でお答えください。
- 配布資料を見ながら回答しても構いません。

番号	問題	回答欄
		○・×
(例)	肝炎コーディネーターは、患者相談から手続きの詳細な説明まで、全て自分一人でこなさなければならない。	×
B型肝炎の病態と治療について		
1	免疫抑制状態ではB型肝炎ウイルス再活性化対策が必要である。	
2	B型肝炎ウイルスは会話や握手で感染する。	
3	B型肝炎ウイルスの感染予防にB型肝炎ワクチンが有効である。	
4	B型肝炎ウイルスは治療で排除できる。	
C型肝炎の病態と治療について		
5	C型肝炎は30%が自然治癒する。	
6	肝がんの成因ではC型肝炎が多い。	
7	C型肝炎患者は高齢化している。	
8	インターフェロンフリーの治療は高齢者や進行した肝硬変患者さんへの治療の可能性を広げた。	
京都府の肝炎対策について		
9	京都府が保健所で行う肝炎ウイルス検査は無料で受けることができる。	
10	肝炎ウイルス検査で陽性と言われたが、特に自覚症状がなければ精密検査を受ける必要はない。	
11	B型肝炎ウイルスに対する核酸アナログ製剤治療に対して、医療費の助成制度がある。	
12	C型肝炎ウイルスに対するインターフェロンフリー治療に対して、医療費の助成制度がある。	

所属名： _____ 氏名： _____

京都府使用欄
採点結果 _____ / 12